

◎一昨年・昨年の（高温の経験）を生かそう！

- ・高温が続くとアスパラガスは細い若茎や規格外が多くなります。その時は、**収穫を無理せずに翌年の良品出荷のために株の養成に努めましょう。**
 - ・**圃場が乾いているようであれば、適宜（遅れずに）かん水しましょう。**
但し、圃場内で半日以上水たまりにならないように！
- ※3か月予報（5～7月）では高温の確立が高いと予報されています。

1. 雑草対策

- 畝上の雑草は収穫時に抜き取りましょう。また、通路の雑草は早めに中耕除草しておきましょう。さくらんぼ等、他作物の管理作業で忙しくなる前に対処しておきましょう。

2. 収穫と立茎

- 収穫する際には、**曲がり等の奇形茎は早めに取り除き**、品質の良いアスパラガスを多く収穫しましょう。このような茎は早めに取り除きます！→



- 春芽の収穫期間（立茎開始時期）の目安は以下のとおりです。

収穫年数	【定植後年数】	収穫期間の目安
収穫初年目	【定植2年目】	15日
収穫2年目	【定植3年目】	30日
収穫3年目	【定植4年目】	45日
収穫4年目以降	【定植5年目以降】	60日

春芽の収穫期間が長くなりすぎると、株の養分が少なくなり、収量の低下につながります！

- ☆目安の収穫期間よりも収穫日数が少ない場合でも、以下に当てはまる時は、早めに立茎しましょう。

- ◇萌芽してくる若茎のL品以上の比率が(ピーク時の)40%以下に落ち込んだとき。
- ◇出荷ピーク時よりも出荷量が30%以上少なくなったとき。
- ◇奇形や曲がりの若茎が目立ってきたとき。

- 立茎した茎葉は、倒れないようにしっかり誘引すると翌年の収量増に非常に効果的です。茎葉に光が良く当たり、光合成をしっかりと行うことで、来春の収穫に必要な養分が根に蓄積されます。。

3. 収穫終了後の施肥管理

- 春芽の収穫が終わり立茎時期になりましたら、夏芽の収穫や次年度に向けて、有機入り化成肥料（または緩効性肥料）を、窒素成分で10a当たり20kg程度圃場全面施肥しましょう。

○アスパラガスの長期どり栽培に興味がある方は、連絡をお願いします。(86-8184)



STOP！農作業事故～農作業時の安全確認を徹底しましょう！！～